

じゅうしちはち
十七八節
(本調子)

ゆすいずいみ

夕雀ぬなりば

あいちうらりらん

たまくがに ついけ

玉黄金使ぬ

にゃちゆらとつみばヨ

夕暮れになれば

いてもたっても居られない

恋しい人の使いの者が

もう来るかと思うと

< 解説 >

「十七八節」という名称については、恋歌なので思春期の歳頃を名称にしたという説と、ある仏典の第十七願・十八願に由来した人生観を歌っているからという説などがあります。

< 古典 >

三線の休止符が続くところは少し長引かせ気味に歌います。

